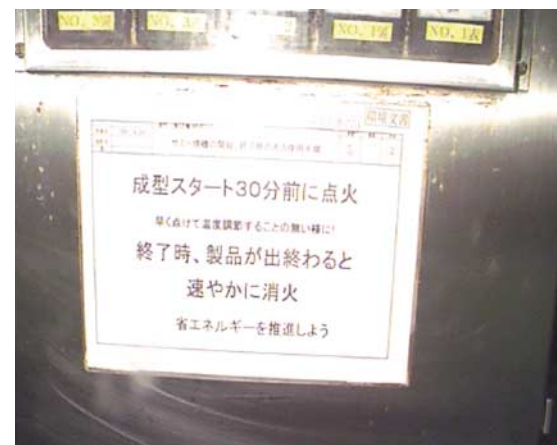


(株)ニチレイフーズ高槻工場

工場長名：植田 文弘
 環境管理責任者名：荒木 一三
 ISO14001認証取得日：2001年6月22日



ホースバルブ



機器貼付用バーナー管理手順



ゴミ資源分別置場

井水使用量の削減

現場のホースにバルブを設置し、排水量の調整を作業者の手元で行えるようにしたことで、無駄な放水が減少しました。清掃業務の委託業者は、工場(第一工場～第三工場)ごとに任命した総括者の立ち会いのもと夜間清掃を行いました。また、それらの節水活動の内容は、業者も参加する月1回の報告会で検討し継続的に改善しました。機器類から排出される冷却水を一箇所に回収し、ポンプなどにより循環させることで再利用しました。また、回収後にタンクからオーバーフローする冷却水もそのまま排水せず、クーリングタワー用の補給水として再利用しました。節水プロジェクトによる節水パトロールを実施すると共に、節水に関する提案を募集し実行しました。

2000年度実績:266千m³
 2001年度実績:202千m³

都市ガス使用量の削減

ガス式ボイラー、ハンバーグ鉄板焼機、フライヤーの適正な点火ルールを見直すことで、バーナーの管理手順を作成しました。ハンバーグ鉄板焼機、フライヤーのバーナー部の管理基準に重点を置き、関連機器類のメンテナンスを強化しました。蒸器、フリーザーなどの蒸気使用機器類の運用手順を確立し、ガス式ボイラーの稼働時間を短縮しました。

2000年度実績:1,617千m³
 2001年度実績:1,283千m³

廃棄物の適正管理によるリサイクル化の促進

廃棄物の分別管理を徹底するため、ゴミ分別置場、廃プラ置場、残渣用ドラム缶置場等の廃棄物置場を整備しました。さらに、廃棄物の分別に関する事業所内の運用ルールにおいても周知徹底させ、リサイクル化を促進しました。

2000年度実績(動植物性残渣、段ボール、植物性廃油、鉱物性廃油、金属、一斗缶、汚泥):廃棄量 2,911トン(リサイクル率 88.0%)
 2001年度実績(動植物性残渣、段ボール、植物性廃油、鉱物性廃油、金属、一斗缶、汚泥、廃プラ、飲料缶、紙類、乾電池):廃棄量 2,642トン(リサイクル率 90.6%)

関西日冷(株)高槻事業所

所長名：大杉 洋
 環境管理責任者名：田畑 英夫
 ISO14001認証取得日：2001年6月22日



自家製ポスター掲示



トイレ節電ポスター



プリンター節電



ゴミ分別置場

NOx、CO₂排出量の削減

社外のドライバーとNOx及びCO₂の排出量削減に関する打ち合わせを適宜行い、アイドリングストップの推進に努めました。また、アイドリングストップ定着のため、構内に自家製のポスターを掲示しました。ドライバーから聴取したアイドリング時間を基に、NOx及びCO₂の排出量などを算出し記録しました。さらに、それらのデータをドライバーにフィードバックすることで、再び協力を依頼しました。

2000年度実績:(データなし)
 2001年度実績(NOx):2トン
 2001年度実績(CO₂):89トン

電力消費量の削減

プロジェクトチームが作成した電力の削減手順により、昼休みなどに使われている無駄な照明を消灯しました。コンピューターおよびプリンターの夜間電源OFF、トイレ内の節電、エアコンの温度指定などの社内ルール作り着手しました。エアコンの点検記録表を作成し、フィルターの定期的な清掃を確実に行いました。

2000年度実績:4,096千kWh
 2001年度実績:4,080千kWh

廃棄物の適正管理によるリサイクル化の促進

廃棄物の分別管理を徹底するため、一般廃棄物置場、廃棄オイル置場(施設管理)、鉄屑置場などのゴミ分別置場を整備しました。さらに、廃棄物の分別に関する事業所内の運用ルールにおいても周知徹底させ、特に紙のリサイクル化を促進しました。

2000年度実績(紙):リサイクル率0%
 2001年度実績(紙):リサイクル率83.3%